

この催しの趣旨について

昨年東北地方を中心に発生した震災(地震・津波)では
多くの人命と財産を失う結果となりました。

そして、その復興を阻む大きな要因となる「原子力発電所事故」があり、未だに影を落とし続けています。

人の手による「絶対安全神話」は大自然の前では実に脆い姿を晒した文明のカタチだと言えそうです。
びわ湖を擁する滋賀県の隣接県で同様の原子力災害が生じた場合は京阪神にも想像を絶する被害をもたらすかもしれません。

しかしながら、現代のわたしたちの暮らしにとって「電力」は必要不可欠であることも事実です。
スイッチオンでいかなるときも求めるだけの「電力」がほぼ満足に需要できたつい昨日までの日々。

私たち日本人は、これが過去のことでありと悟らなくてはなりません。

放射能汚染という大きな環境汚染の確率を減らす為には、

火力発電など化石燃料由来の発電所の稼働率を上げるという新たな環境汚染の増加を見込まなくてはなりません。

太陽光発電や風力発電に代替するにも、太陽光パネルや風力発電モーターなどの生産にも
産業電力が必要です。

〔公開アンケートについて〕

何事も多数決で決める…ということではありません。

「わたし」と「あなた」とは明らかに住む環境やとりまく社会が異なるのです。

そのような中で、「わたし」は環境とエネルギーについてどう考えているのかを自問自答し、
そのことから「あなた」の意見を理解して尊重する機会を持っていただくために実施するものです。

皆様のご意見を集約して後日ホームページにて公表します。

当日会場で実施しようとする項目の抜粋に当日会場に来ることが出来ないあなたも回答してみてください。

(※ わたし=ご自分 あなた=周囲の人)

〔災害編〕

Q あなたは近い将来、滋賀県や近隣府県で地震などの大きな災害が起こるとおもいますか？

{ }

Q ① 災害によって家族や財産や仕事を失ったとき、あなたはどうしますか？(誰にどのように救済をもとめますか？)

{ }

② 災害によって棲家を奪われた場合、あなたには移住先の候補がありますか？

{ }

Q 今回の東北地方の震災の被災者に会ったことや、直接会話をしたことがありますか？

{ }

〔環境編〕

Q 原子力発電の事故により、放射能汚染の危険性が取りざたされていますが、原子力発電をストップすることにより、化石燃料由来の発電比率が増加し、結果的に環境汚染が進行すると思いませんか？

{ }

Q ① 福島第一原子力発電所は、現状で「冷温停止」の状態にあるとされていますが、あなたはこの発表を信じていますか？

{ }

② また、あなたは放射能汚染に関する情報がすべて正しく公表されていると思いませんか？

{ }

〔経済編〕

Q 発電コストが「安い」とされる原子力発電をストップすることにより、電力料金が上がったり、産業活動が低下したりするかもしれません。このことについてあなたはどう思いますか？

{ }

〔総合編〕

Q ① あなたは、今夏ピーク消費時の電力は足りると思いますか？

{ }

② あなたは、原子力発電の再開に YES or NO ?

いかがでしたか…。アンケートの結果は後日ホームページで公表いたします。

上記アンケート内容は、当日のシュミレーション設問からの抜粋です。

提言 7月1日「びわ湖の日」滋賀県民は「節電の日」として取り組みませんか。

(社) **あかるいまちづくりの会** <http://biwako.co.jp>

TEL 077-598-1276 FAX 077-598-1476 E-mail: info@biwako.co.jp